

奈良市内の某自治会の取り組み

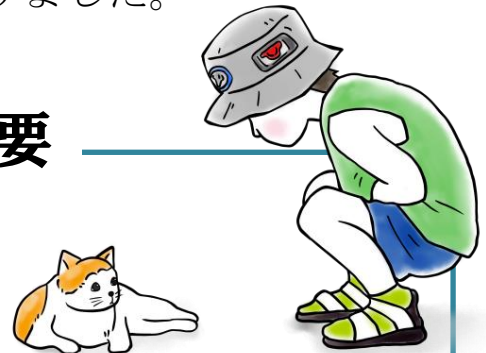
始まりは、猫の糞尿で公園の砂場が使えなくなったこと、自治会役員さんたちは、問題解決のため、さまざまな資料を取り寄せて研究したり行政にも相談されました。

地域猫活動ボランティアにも相談が寄せられました。

自治会役員・行政（奈良市保健所）・地域ねこ活動ボランティアの3者で何度も話し合いが行われましたが、自治会さんとして終始、猫との共生という姿勢はゆるぎないものでした。こうして、順調に一自治会として地域ねこへの取り組みが始まりました。

取り組みの概要

- ◇ 公園に猫トイレをつくる
- ◇ 自治会の中に【まち猫の会】を結成
(会員が当番制で猫のえさやり、糞掃除などを行う)
- ◇ 例会は毎月1回、報告と親睦を兼ねた意見交換会を行う



4月初旬の自治会総会において正式に活動開始されてから3年目を迎えています。

この地域の住民さん達の一致した思い、それは

あったかい街・やさしい街づくりです。

地域の子供たちが大人の背中を見ていることを強く意識されての事と聞いています。

私たちは、このような取り組みがもっともっと広がることを願っています。